

「あいち食育いきいきプラン2025」の「数値目標」の進捗状況

資料2

◎：目標を達成したもの（2項目）、○：改善が見られるもの（8項目）、△：改善が見られないもの（10項目） 計20項目（※2022年度のデータが無いものは2021年度の数で評価）

1 食を通じて健康な「体」をつくるための目標

(状況…◎：達成、○：改善、△：改善見られず)

| 項目 | 基準年 | 2021年度 | 現状値(2022) | 状況 | 目標(2025) | 担当課室 | 2023年度の県の主な取組 |
|-----------------------------------|--------------|--------|-----------|----|----------|-------|--|
| ○朝食を毎日食べる習慣がある小中学生の割合 | 93.2% (2020) | 92.6% | 90.7% | △ | 98%以上 | 保健体育課 | ○学校全体で食育に取り組むための指導充実にに向けた指導者の育成 ○「早寝早起き朝ごはん」運動の啓発 ○PTA活動における研修会や情報発信 |
| ○朝食を毎日食べる習慣がある高校生の割合 | 86.0% (2020) | 85.7% | 83.8% | △ | 91%以上 | | ○保健体育・家庭科、ホーム活動等を活用した食育の推進 ○農業・家庭・看護・福祉などの専門学科での食育指導の充実 |
| ○朝食を欠食しない若い世代の割合 | 89.1% (2020) | 85.4% | — | △ | 91%以上 | 健康対策課 | ○若い世代を対象とした啓発活動の実施 ○職場の給食施設への栄養管理・健康増進に関する巡回指導 |
| ○適正体重の小中学生の割合 | 88.8% (2019) | 86.2% | 87.1% | △ | 91%以上 | 保健体育課 | ○肥満傾向にある児童に対する効果的な指導実施のための指導者の研修 ○思春期からの適正体重の維持のため、学校関係者との連携指導のための指導者研修 |
| ○自分の適正体重を認識し、体重コントロールを実践している成人の割合 | 32.8% (2020) | 34.2% | — | ○ | 35%以上 | 健康対策課 | ○メボリックラボの特定検診・特定保健指導のための指導者研修 ○職場の給食施設への栄養管理、健康増進に関する巡回指導 |
| ○永久歯に虫歯のない中学生の割合 | 80.6% (2019) | 81.2% | 81.9% | ○ | 85%以上 | | ○乳歯から永久歯までの一貫したう蝕対策の推進 |
| ○何でも噛んで食べることができる成人の割合 | 82.0% (2018) | 82.4% | 82.4% | ○ | 87%以上 | | ○働く世代の歯周病の重症化予防を図るための研修 |
| ○朝食に野菜を食べている小中学生の割合 | 55.9% (2020) | 61.9% | 61.5% | ○ | 80%以上 | 保健体育課 | ○食育だより、学校給食試食会、就学時健診等での保護者への各種情報提供 |
| ○毎日3回以上野菜を食べる成人の割合 | 17.7% (2020) | 17.5% | — | △ | 20%以上 | 健康対策課 | ○外食の機会における野菜摂取量の増加等のバランスの良い食事を選択できる環境づくりの推進 |



2 食を通じて豊かな「心」を育むための目標

| 項目 | 基準年 | 2021年度 | 現状値(2022) | 状況 | 目標(2025) | 担当課室 | 2023年度の県の主な取組 |
|--------------------------------|---------------|--------|--------------------------|----|----------|---------|---|
| ○1日最低1食、家族や友人と一緒に楽しく食事をする人の割合 | 57.7% (2020) | 68.0% | — | ○ | 70%以上 | 食育消費流通課 | ○家族・友人と一緒に食事をとることの呼びかけ ○子ども食堂への支援 ○生活支援サービスの実施状況把握と情報提供 ○食生活改善推進員の育成 |
| ○農林漁業体験学習に取り組む小学校の割合(名古屋市を除く) | 77.8% (2019) | 69.8% | 71.1% | △ | 80%以上 | | |
| ○県等が実施するイベントや農林漁業体験の参加者数 | 14.6万人 (2019) | 13.6万人 | 14.9万人 (とりまとめ中のため推定値) | ○ | 18.5万人以上 | 農政課 | ○教育ファーム、酪農教育ファーム、食農教育、市民農園、農業体験農園などの取組推進 ○農山漁村の地域資源を巡るイベント紹介と「食と花の街道」の認定 |
| ○郷土料理等の食文化を家庭や地域で次世代に伝えていく人の割合 | 41.2% (2020) | 47.2% | 37.3% | △ | 50%以上 | 食育消費流通課 | ○伝統料理の継承に係るシンポジウム開催 ○和食の調理講習会の実施 ○愛知県茶会の開催 ○あいちの野菜と漬物の魅力についての講習会の開催 |



3 食を通じて「環境」に優しい暮らしを築くための目標

| 項目 | 基準年 | 2021年度 | 現状値(2022) | 状況 | 目標(2025) | 担当課室 | 2023年度の県の主な取組 |
|-------------------------------|--------------|--------|-----------|----|----------|---------|---|
| ○無駄や廃棄の少ない食事づくりを積極的に行っている人の割合 | 45.8% (2020) | 47.6% | 52.3% | ◎ | 50%以上 | 食育消費流通課 | ○食品ロス削減イベントの開催 ○「あいちエコアクション・ポイント事業」の実施 ○各家庭での食品ロス量を把握し減量にチャレンジする県民参加型事業の実施 |
| ○学校給食において全食品数に占める県産食品数の割合 | 40.4% (2020) | 38.2% | 38.0% | △ | 45%以上 | 保健体育課 | ○学校給食への県産農産物の供給体制構築の促進 ○「愛知を食べる学校給食の日」の実施 ○学校給食用牛乳供給事業者への指導や教育委員会等との調整 |
| ○学校給食において年間に使用した県産食品の種類 | 55種類 (2019) | 58種類 | — | ○ | 60種類以上 | | |
| ○県産農林水産物を優先して購入する県民の割合 | 15.4% (2020) | 13.3% | — | △ | 25%以上 | 食育消費流通課 | ○Webサイト等による直売所の情報提供 ○園芸作物(いちご、日本なし、かぼ)や愛知県産米「愛ひとつづ」等のブランド化の推進 |



4 食育を「支える」ための目標

| 項目 | 基準年 | 2021年度 | 現状値(2022) | 状況 | 目標(2025) | 担当課室 | 2023年度の県の主な取組 |
|--------------------------|---------------|--------|-----------|----|----------|---------|---|
| ○食育推進ボランティアから食育を学んだ人数 | 11.1万人 (2019) | 2.7万人 | 5.7万人 | △ | 12万人以上 | 食育消費流通課 | ○食育推進ボランティアの登録と活動支援(情報発信による登録促進、地域食育推進ボランティア研修交流会の開催、活動における学校や企業との橋渡し) |
| ○食育推進ボランティアと学校・企業等との連携回数 | 227回 (2019) | 287回 | 289回 | ◎ | 240回以上 | | |
| ○「いいともあいち運動」を知っている人の割合 | 22.7% (2020) | 24.2% | — | ○ | 28%以上 | 食育消費流通課 | ○協議会の開催、ネットワークの拡充 ○いいともあいち地域での開催 ○推進店の登録推進 ○推進店での「いいともあいち」の開催 ○県産農林水産物を使った新製品の開発支援 |

